

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------|----|-------------|
| ○事業所名 | ニーニョス | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年12月1日 | | ～ 令和7年1月10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 25 | (回答者数) 25 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年1月28日 | | ～ 令和7年2月14日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月20日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | お子様一人一人のニーズに応じた支援や活動提供 | 5領域(「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」)から、アセスメントを行い保護者様との連携を図りお子様それぞれの状況やニーズに応じた支援を行う。 | 保護者様やお子様の状況やニーズに応じた支援が提供できるよう、職員のスキルアップ、専門職との連携を強化しながら支援に繋げていきたい。 |
| 2 | 公共施設や交通機関を通した、様々な生活体験活動の実施 | お買い物体験・JR乗車体験・警察署見学・アイス工場見学など、様々な公共機関を利用しながら友達と一緒にたくさんの経験が出来るような計画を立てている。 | 「お子様達のやってみたい」を引き出しながら、主体的に取り組む事で、お子様方の興味・意欲・自信に繋がるように支援したい。 |
| 3 | 自然あふれる地域を活かした食農体験活動 | 自然あふれる地域を活かし、お子様方と一緒に芋の苗植え・収穫体験・焼き芋大会など、食農体験活動を通して食育や友達とのコミュニケーションの充実を図っている。 | お子様方と一緒に「育てたい野菜や植物」について検討し、興味や意欲に繋げながら、食農体験活動の充実を図っていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | お子様方の日常や活動の様子を発信・活用手段を増やしていきたい。 | 普段のお子様様の様子を動画や画像を通してもっと見てみたいとの意見が聞かれる中で、SNSやInstagramなどを活用して、ご自宅でも確認等できる仕組みを作っていきたい。 | 個人情報の取扱いについて、保護者様と十分確認したうえで実施する。 |
| 2 | 家族支援(ペアレント・トレーニング、きょうだい児の交流)、地域の幼保との交流 | ペアレントトレーニングの実施内容や時期についての具体的な周知の改善。きょうだい児や地域の幼保、地域の子どもたちとの交流の場を設けていきたい。 | ペアレントトレーニングの内容の周知方法の改善を行い、家族支援の充実へと繋げる。きょうだい児や地域の子どもたちとの交流イベントを企画し、交流の場を設定していきたい。 |
| 3 | 緊急時・非常災害時のマニュアルの保護者様への周知 | 災害や緊急時のマニュアル策定を行い、見直し等を随時行っているが、保護者様への内容説明や周知方法が十分ではない状況である。 | 契約時の説明だけでなく、HP等を活用しながらいつでもどこにいてもマニュアル等を確認できるよう改善を図る。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | | 公表日 令和7年2月28日 | | | | | |
|--|---|---------------|---------------|-----|-------|--|--|
| ニーニョス | | 利用児童数 25名 | | | | 回収数 25名 | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
| 環境・ 体制整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 12 | 6 | 1 | 6 | | お子様の活動スペースについては、基準スペースは満たしております。活動場所など、その都度状況に応じて工夫を行って参ります。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 24 | 1 | | | | 職員配置の基準は満たしております。必要に応じて、応援体制など職員配置の工夫に努めて参ります。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 15 | 5 | | 5 | | バリアフリー対応の環境設定となっており、今後もお子様の視点に合わせた環境作りを努めて参ります。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 25 | | | | | 日常の清掃、消毒、整理整頓を心がけておりますが、お気づきの点等ございましたら事業所の職員までお知らせください。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 23 | 2 | | | | お子様の様子や状況に応じて、職員間や保護者様と情報共有を図り、必要に応じて専門職と連携を図りながら支援を行っております。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 24 | 1 | | | | 事業所支援プログラムをベースに個々に応じた対応を保護者様と検討し、状況やニーズに沿った支援となるように努めております。 |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 25 | | | | | 保護者様からのアセスメントを元に作成させていただいております。お子様の発達状況に変化等があられた際には、真摯にさせていただきます。 |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 24 | 1 | | | | ガイドラインに提示のある項目について、目標を立てさせていただいております。追加項目やご意向の変更等ありましたら、職員までお申し出ください。 |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 25 | | | | | お子様一人一人の目標に向けて、個々の発達段階に合わせた方法を見つける事が出来るよう職員一同取り組んで参ります。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 23 | 2 | | | | お子様の状況に合わせて、カリキュラム設定を行っております。お子様が期待感を持ち、意欲的に取り組む事が出来る内容を取り入れて参ります。 |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 14 | 3 | 2 | 6 | | 幼稚園・保育園との連絡会に関しては年に2回実施しております。交流に関しては、今後どのように実施できるか、検討して参ります。 |
| 保護者 への 説明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 24 | 1 | | | | 契約時に説明させていただいております。何かご不明な点・ご質問等がありましたらお知らせください。 |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 25 | | | | | 通園時、また年に2回の児童発達支援計画書に基づく面談を行う際には、保護者様に提示させていただきながら説明を行って参ります。 |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 25 | | | | | 今年度、ペアレントトレーニングを実施しております。家族会につきましては、今年度2回実施させて頂いており、外部講師の方の講話などもありますのでぜひご参加ください。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 25 | | | | | 日常の申し送り、連絡帳にて、日々の共有に取り組んでおります。今後さらに、保護者様との課題共有ができるよう努めて参ります。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 23 | 2 | | | | 年に2回児童発達支援計画に基づく面談を実施しております。状況に応じていつでもご相談等お待ちしておりますので、職員までお申し出ください。 |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 24 | 1 | | | | 事業所職員間で、お子様の成長や保護者様からのご意見等を共有しながら、お子様方の支援に努めております。 |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 24 | 1 | | | | 保護者様同士の交流の機会として、親子BBQや自由参加等の活動を実施しております。次年度は、より交流の機会が深まるよう懇談会の場などを計画して参ります。 |
| | 19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 23 | 2 | | | | ご相談につきましては、定期的な面談を実施させて頂いております。ご希望がございましたら、いつでも職員にお申し出ください。 |
| 20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 24 | 1 | | | | 日常の申し送りの中で、できる限り直接ご家族とお話させていただき、状況に応じて連絡帳等活用しながら、コミュニケーションを図りお伝えできるように努めて参ります。 | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--|---|--|
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 23 | 1 | | 1 | 緊急の共有事項に関しては、現在「さくら連絡網」を活用しながら配信させていただいております。自己評価につきましては、ホームページに公開予定です。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 23 | | | 2 | 個人情報の取扱いに関しては、鍵付きの箱に保管し、全職員十分に注意しております。個人情報の管理に関しては、今後も徹底し行って参ります。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 24 | 1 | | | 毎年、マニュアル見直し、必要に応じて改訂を行っております。各教育室等に掲示を行っておりますので、ご確認ください。また、毎月1回の訓練については、確実に実施を行って参ります。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 23 | 1 | | 1 | 毎月1回、避難訓練を行っております。火災や地震、風水害など、あらゆる状況を想定して職員も訓練を行っております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 23 | 1 | | 1 | お子様の安全が確保できるよう、計画を職員間で周知しながら、対応を行って参ります。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 24 | | | 1 | 事故等が発生した際には、法人内のマニュアルのもと、保護者様へ事故等の説明をお電話にて速やかに対応できるよう、努めて参ります。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 24 | | | 1 | 今後も、お子様が安心して過ごし、保護者様が安心してお子様を送り出せるよう、職員一同支援に努めて参ります。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 24 | | | 1 | お子様お一人お一人が笑顔で過ごせるような場になるよう、今後も職員一同協力しながら支援に努めて参ります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 25 | | | | 今後も、ご家族の皆様と一緒にお子様と向き合いながら、一人一人のお子様にあった丁寧な支援に努めて参ります。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | ニーニョス | | 公表日 令和7年2月27日 | | |
|----------|--------|--|-----|---------------|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | | 基準を満たしたスペースとなっておりますが、お子様の状況によって机等の配置に注意しながら十分なスペースを確保してまいります。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | | 基準を満たした職員配置数となっておりますが、お子様の状況によって職員数を調整しております。職員のスキルを上げながら的確な支援に努めていきます。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | お子様達の状況に応じて、活動スペースの工夫や構造化を図りながら、支援を行っております。 | 活動内容に応じて部屋を変えて環境作りに努めている。また、支援の妨げにならない程度に季節の壁面等工夫し、明るい雰囲気作りにも力を入れています。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 毎朝、職員が清掃や消毒等を行っております。玄関マット等に関しては、外部の業者が交換やクリーニングを行っております。 | 療育室、トイレ、倉庫等の管理責任者を置くことで、衛生管理を徹底している。また、壁面等支援の妨げにならない範囲で飾り、季節感を味わえるよう工夫しています。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | | お子様が落ち着かない場合には、空き教室を使ってお子様の状況に応じて落ち着く環境を作っています。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | | 毎月1回ケース会議時に業務改善事項があれば協議し、その他随時改善事項があれば朝礼等で発信し改善に努めています。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | 毎年1回保護者様向け評価、事業所評価を実施し、保護者様からいただいたご意見を事業所間で共有し業務改善に活かしております。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 職員会議等で審議事項について共有しながら、必要に応じて業務改善に繋げております。 | 月1回ケース会議を開催し、その際に意見を把握しています。また、毎日の朝礼でも情報共有を行っております。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | 今年度は3月に行う予定としております。 | 今年度は行っておりませんが、今後は検討してまいります。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | | 毎月1回療育研究会を実施。その他内部研修・外部研修を受けながら職員のスキルアップに努めています。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | | 支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | ○ | | | 保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その情報を職員で共有し計画を作り、保護者様、職員との検討会議を経て本計画とする流れで作成しております。 |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 児童発達支援計画書の作成にあたって、職員間でお子様の成長や課題について共有した後に、計画の作成を行っております。 | 児童発達支援責任者を中心に事業所の全職員でアセスメント(検討会議)を実施した上で、児童発達支援計画を作成しています。 |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | | 計画書を作成後、職員や保護者様と検討会議を行い本計画を作っている為その中で共有している。また、計画の変更があった際も随時共有を行っています。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | | ガイドラインに基づいた書式で児童発達支援計画を作成している。日々の行動観察は連絡帳にて記録し、その中の項目にてアセスメントを行っています。 |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | ガイドラインをもとに、お子様それぞれの現状や実態に合わせて、職員間で協議しながら支援内容の設定や共有を図っております。 | 児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しています。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | | 活動内容の立案は職員間で協議し共有しながら、お子様の成長に繋がるプログラムになるよう工夫しております。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 活動プログラムを毎月確認するうえで、プログラムが固定化されないよう、職員間で協議しながら設定を行っております。 | 毎年新たな取り組みをしたり、毎月の活動がマンネリ化しないよう常に情報収集活動しながらプログラムを策定しています。 |

| | | | | | |
|----|--|---|--|---|--|
| 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | | 常に職員間で協議しながら、お子様の状況にあった支援を提供している。時に集団活動の中でも個別対応が必要である場面もあるが、随時対応に応じ、児童発達支援計画にも反映するよう努めている。 |
| 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | | 朝礼時活動内容含め、支援内容、役割分担について職員間で共有しております。 |
| 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | | 支援終了後クラスごと職員間で支援の振り返りを行い、お子様の状況、保護者様からのご意見、ご相談内容等を共有しております。 |
| 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | | 毎日業務日誌を記載し、人数、活動内容、所感をもれなく記録し支援の改善に繋げております。 |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | | 更新時期でなくても、お子様の目標達成状況に応じて見直しを行っております。 |
| 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | | 児童発達支援管理責任者を始め、直接支援している保育士・児童支援員が参加しております。 |
| 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | 南部保健センターの方に連絡会に出席していただいたり、併用先の幼稚園・保育園や就学先の学校とは情報交換を行っております。 |
| 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | | 併用利用児は年2回情報交換会を行っており、就学児に関しては就学先との連絡会を行っている。方法は、来館による療育参観やズーム会議、併用先へ訪問にて実施しております。 |
| 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | | 就学児を対象に小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と相互理解を図ることができるよう努めております。 |
| 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | ○ | | 南部地区連絡会や児童発達支援センターの連絡会を通して、それぞれの事業所の情報共有を行いながら、地域全体の質向上に繋がるよう取り組んでおります。 | 南部地区連絡会を開催しており、他事業所と連携を図れるようになってきているが、今後関係作りを進めてまいります。 |
| 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。 | ○ | | | 発達支援セラピスト、保健師、嘱託医から療育に関するアドバイスをもらい支援に活かしている。外部研修にも随時参加しております。 |
| 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | | 自立支援協議会のこども部会には法人代表で1名出席しており、内容は共有しております。 |
| 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | ○ | | | |
| 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | | 交流の機会を設定できるよう、今後検討してまいります。 |
| 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | | 面談、申し送り、連絡帳、お電話等で保護者様とお子様の状況や課題について情報共有を行っております。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 今年度、ペアレントトレーニングを実施させていただいております。また、年に2回家族会を行う中で講話などを設定し、ご家族が参加できる研修等を実施しております。 | 5回コースでペアレントトレーニングを行い、家族支援に繋げることが出来ました。 |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | | 契約時に説明を行い、利用者負担が必要な場合は随時説明を行い同意をいただいております。 |
| 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | | 作成する前にお子様、保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。 |
| 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | ○ | | | 年2回、支援計画を基に検討会議を行い、保護者様より同意をいただいております。 |
| 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | | 引き継ぎご家族からのご相談には迅速に、かつ適切に応じられるよう努めてまいります。 |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|--|--|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | | 交流の場として、定期的に親子療育を実施しています。また年2回家族会を開催しております。今後も保護者仲間同士の交流が図れる機会（療育参観・茶話会等）を設けております。 |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | | 相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に繋げられるよう動いてまいります。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | | 毎月1回行事予定表にて活動内容等をお知らせしております。また随時ブログを更新し活動風景を発信しております。今後はInstagram等での発信も検討しております。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | 個人情報データベースにて施錠して保管しております。また、写真の掲載については保護者間の同意を得たうえで掲載しております。 |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | お子様には絵カードの視覚的支援を、保護者様には連絡帳等わかりやすく記載し、お伝えできるよう工夫しております。 |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | | 法人全体で毎年サマーフェスタ、フリーマーケットを開催し、地域住民の皆様にも来ていただいております。 |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | | マニュアルは整備できておりますが、保護者様に周知していただく方法を検討してまいります。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 業務継続計画（BCP）においては、定期的に見直しを行いながら改善に繋げており、会議などを通して周知を図っております。 | BCPを作成し、随時変更があれば更新しております。毎月1回、地震、火災、不審者対策等の避難訓練を実施しております。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | ○ | | | 発作、服薬、予防接種等については契約時に詳しく確認を行い、変更があれば随時申し出ていただいております。 |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | | 新規面談時にアレルギーについて聞き取りを行い、必要なお子様には医師の指示書をいただき栄養士とも共有し個別対応を行っております。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 年に1回、安全計画の見直し等を行う中で、勉強会の設定を行い、職員間で共有しながら安全管理を行っております。 | 安全計画を作成し、随時ケース会議にて職員間で研修や訓練を行っております。 |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | BCP等はご家族へ向けて掲示していますが、取組内容の周知方法を今後検討してまいります。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、事業所内で方策を検討しております。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 毎月、虐待防止と身体拘束に関する会議を行っており、職員間で状況に応じて共有を行いながら対応を行っております。 | 毎月1回虐待防止委員会を開催し共有している。法人内の全体研修時にも虐待について取り上げております。 |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | ○ | | | 現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいません。必要なお子様に関してはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童支援計画書に記載しております。 |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|-------------------|-------------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 二一ニヨス（保育所等訪問支援事業） | | |
| 二一ニヨス（保育所等訪問支援事業） | なし | | なし |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 0名 | (回答者数) 0名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 2月 17日 | | 2025年 2月 17日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 1 | (回答者数) 1名 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | なし | | なし |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 0 | (回答者数) 0 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 2月 18日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 幼稚園・保育園との連携(幼保連絡会や送迎時など)を図っている為、保育所等訪問の受け入れに関して協力的である。 | 年に2回の情報交換を行いながら、併用先の保育園や幼稚園との情報交換で密な連携を図る事が出来るように努めている。 | 保育所等訪問支援を継続して行う中で、明確なビジョンや支援の共通理解がさらに深まるよう、実施計画を立てた上でスケジュール調整を行う。 |
| 2 | お子様の困り感に対し支援内容の共有を図りながら、対応方法を双方の意見を共有しながら、それぞれの場所を活かした支援を行う事が出来る。 | お子様の困り感に関して、必要に応じて専門講師（PT、OT、ST）に助言をいただきながら、お子様の支援に必要な情報等を準備し、様々な視点からの助言を行えるようにしている。 | 今後は、こちらで使用している教材等を準備して持参する事で、双方で活かせる支援に繋げていく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 定期的(月1～2回)な訪問の調整を行う中で、スケジュール調整が困難な事もある。 | 園行事の把握や日程調整の課題（双方の意見） 訪問の時間設定や情報交換までを想定した時間の確保 | お子様の為の、定期的な訪問と保育所等訪問の充実が図れるよう、訪問時に次回の日程調整や協議内容についてまで決める事が出来るように取り組んでいく。 |
| 2 | 言語聴覚士等の訪問を計画する場合、法人内に専門職はいるが事業所専属ではない為、一緒に訪問するにあたり、日程調整が必要となる。 | 保育所等訪問支援を利用するご意向を把握し、必要な専門職との連携を密にとっておく。 | 実施の2か月前には、園・事業所・専門職のスケジュール調整を行い、双方にとってスムーズな訪問へと繋げられるようにする。 |
| 3 | | | |

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ニーニヨス（保育所等訪問支援事業）

公表日 令和7年2月27日

利用児童数 令和7年12月31日時点 1名 回収数 1名

| | | 2025年 2月 17日 | はい | どちらとも いいない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|--|----|---------------|-----|-------|---|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。 | 1 | | | | | 訪問の支援材料に関しましては、お子様の様子に合わせ、必要に応じて準備を行っております。 |
| | 2 | プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。 | 1 | | | | | 面談は個室にて行い、プライバシーに配慮しながら、情報交換を行っております。 |
| | 3 | 事業の目的が適切に説明されていると思えますか。 | 1 | | | | | 保護者様の意見を踏まえ、目的・実施内容の情報共有の確認を行いながら実施しております。 |
| | 4 | 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。 | 1 | | | | | 実施日・実施時間を含め、保護者様や幼稚園と情報共有を行ったうえで実施しております。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。 | 1 | | | | | 職員体制を整えて、お子様に合わせた支援提供を行う事が出来るように努めて参ります。 |
| | 6 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。 | 1 | | | | | より専門的に支援を行う事が出来るように、職員の専門性・スキルアップに努めて参ります。 |
| | 7 | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。 | 1 | | | | | モニタリング・アセスメントを行い、保護者様の情報を元に、個別支援計画の作成に努めております。 |
| | 8 | 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。 | 1 | | | | | 訪問時の情報交換を元に、保護者様・併用先の移行を個別支援計画の作成に反映する事が出来るように努めて参ります。 |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。 | 1 | | | | | 保育所等訪問支援ガイドラインを元に、支援内容の設定を行っております。 |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。 | 1 | | | | | 訪問支援計画に沿った内容で実施を行い、必要に応じて見直しを行っております。 |
| | 11 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。 | 1 | | | | | 訪問先と密な連携を図り、園行事・他のお子様の支障とならないに取り組んでおります。 |
| 保護者 への 説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 1 | | | | | 契約時に、説明をさせて頂いております。何かご質問がありましたらお知らせください。 |
| | 13 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 1 | | | | | 支援計画と報告書にて実施内容・併用先との情報交換内容の説明を行っております。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。 | 1 | | | | | 年に2回の家族会を実施しております。ペアレント等の取り組みも今後、強化する事が出来るように努めて参ります。 |
| | 15 | 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。 | 1 | | | | | 定期的に訪問支援が実施できていることで、発達の状況や課題について、共通理解が図れているため、引き続き計画的に進められるよう努めて参ります。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 1 | | | | | 年に2回の面談の実施しております。何かご相談等ございましたらいつでもお申し出ください。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。 | 1 | | | | | お子様の状況について、共通理解ができるよう努めて参ります。 |
| | 18 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 1 | | | | | 定期的な面談を設定しておりますが、随時面談の機会を設けますので、いつでもお声掛けください。 |
| 19 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。 | 1 | | | | | お子様、ご家族の思いを汲み取りながら、必要な情報を確実に伝達できるよう努めて参ります。 | |
| 20 | 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。 | 1 | | | | | 訪問先からの相談等へ迅速に対応して参ります。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|--|--|--|--|
| | 21 | 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。 | 1 | | | | | 訪問後は、担当の方と話し合いの場を設けさせていただき、その状況に応じた内容で情報交換を行っております。 |
| | 22 | 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。 | 1 | | | | | ご家族への共有に関しては、タイムリーかつ丁寧に説明が行えるようにしております。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 1 | | | | | 保育所等訪問に関する発信方法を、今後増やせるよう検討しております。 |
| | 24 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 1 | | | | | 今後も個人情報取り扱いに関しては、十分留意しております。 |
| | 25 | 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。 | 1 | | | | | 訪問先との連携を図り、緊急時の対応ができるように努めております。 |
| 満足度 | 26 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 1 | | | | | 安全計画に基づき、安全確保された支援を行っております。 |
| | 27 | 子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。 | 1 | | | | | お子様にとって負担とならないよう配慮した訪問を行っております。 |
| | 28 | 事業所の支援に満足していますか。 | 1 | | | | | ご家族やご本人が安心して保育所等訪問支援をご利用頂けるよう、訪問先（幼稚園）と連携を図りながら、繋がる支援に努めております。 |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

ニーニョス (保育所等訪問支援事業)

公表日

令和7年2月27日

利用児童数

令和7年12月31日時点 1名 回収数1

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--|---|----|---------------|-----|--|---|
| 1 | 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 1 | | | | 訪問時に丁寧にお話出来るよう努めます。 |
| 2 | 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 | 1 | | | | 必要事項を共有していけるようにして参ります。 |
| 3 | 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。 | 1 | | | | 面談時の丁寧な回答に努めます。また、いつでもお問い合わせ頂ければと思います。 |
| 4 | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 1 | | | | お子様の困りごとに合わせて支援実施に努めて参ります。 |
| 5 | 事業所からの支援に満足していますか。 | 1 | | | | 今後とも定期的に訪問させて頂き、お子様にとってよりよい支援を目指して参ります。 |
| 其他のご意見 | | | | | ご意見を踏まえた対応 | |
| 月1～2回訪問していただきながら、実際の様子を見ていただく中で実態や様子に応じた情報交換や助言をいただけて大変ありがたい。3名の職員が連動して協力しながら保育を行う中で、療育の先生の方のアドバイスをいただきながら、保育内容の共有を図り園生活の中でも突発的な行動が落ち着いてきています。また、自分の思いを言葉にして表現してくれる場面も増えている。 | | | | | 訪問の際には、お集まりや活動の場面を設定し、園の様子を詳しく説明して下さり丁寧な対応ありがとうございます。お子様の双方の様子を共有する事で、ご家族が大変喜ばれているようでした。今後も、保育所等訪問支援を実施するにあたり、事前のスケジュール管理や専門職との連携を図るとともに、支援内容の丁寧な説明を行って参ります。 | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | ニーニョスクラブ I | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年12月1日 | | ～ 令和6年12月28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20名 | (回答者数) 11名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年2月17日 | | ～ 令和7年2月19日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3名 | (回答者数) 3名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月21日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 家族支援の取り組み内容 | 親子療育の充実。参加の呼びかけと、保護者様間の交流。 | ・食育を通じた親子療育の計画。更に、参加の少ないご家庭へ今しかできない親子での関わり体験のお声掛け。 |
| 2 | ソーシャルスキルトレーニングの充実。体験活動を通じた自信獲得。 | スプーン、お箸などを使用した指先の機能訓練。絵カードを用いた会話の練習。友達同士の関わりや指示理解、周りの状況への気付きができるよう支援。また、毎月行っているクッキングや、園外活動を通じた体験活動の充実。 | お子様の状況に合わせたステップアップ。お子様の興味を引き出す中で、積極的に取り組めるようにする。 |
| 3 | ・お子様の支援について、OT、PT、STの専門職との連携を図る。 | ・必要に応じて専門職員に入っていたいただき課題を専門的視野で解決する方法を職員と共有する。 ・一人一人に合わせた専門的に特化した支援方法を定期的に共有する。 | ・職員のスキルの向上 ・専門職員との連携 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 活動の様子を現在はブログにて発信・館内の掲示など行っていますが、様々なツール(インスタ・SNS)を活用していきたい | 事業所での写真を欲しい、普段のお子様の様子を見たいとの意見も聞かれる中、館内での掲示も行っていますが、送迎利用の保護者様も閲覧出来る機会を増やしていく | ・個人情報の取扱いについて、検証 ・確認の上でSNSを活用した発信していく |
| 2 | 保育所や認定こども園、幼稚園等の交流を行う。 | 全利用児が保育所や認定こども園、幼稚園との併用の為、主な生活の場となっており、改めて交流には至っていないが、職員も含め交流の場を今後検討していく。 | ・保育所や認定こども園、幼稚園にも交流のお話をしてどのようなことが行えるか職員間での話し合いを検討していく。 ・併用先との密な連携を図り、情報の共有を図っていく |
| 3 | 非常災害に対するの、マニュアル・災害後の連絡方法の周知 | 様々な災害に対するの、マニュアル・避難場所・周知方法においてご家族様への周知方法を再度見直し、災害時の考えられるリスクを軽減していく | ・誰がみても分かりやすい確認方法の周知 ・契約にて丁寧な説明を行う事ができるような仕組み作りを行っていく |

事業所名 児童発達支援事業 ニーニョスクラブ1

公表日 令和7年2月27日

利用児童数 令和6年12月31日時点 20名

回収数 11名

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|-------|---|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 11 | | | | | 活動スペースは基準を満たしたスペースとなっております。必要に応じて、活動室の工夫に努めて参ります。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 8 | 1 | | 2 | | 職員配置は、配置基準を満たしております。必要に応じて、応援体別など職員配置の工夫に努めて参ります。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 10 | 1 | | | | 事業所内、バリアフリー基準を満たした設備になっております。利用されるお子様にとって活動が分かりやすいよう構造化した活動の環境に努めて参ります。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 10 | | 1 | | 玄関の靴の脱ぎ履きのスペースに椅子等を検討して欲しい。カーペットに塵るの は不潔。 | マットに関しては、毎日の清掃、定期的なクリーニングを行っております。お子様の状況に応じて、脱ぎ履きしやすい環境設定に努めて参ります。 |
| 適切な 支援 の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 11 | | | | | お子様のニーズに合わせた支援内容を職員間で共有して参ります。また、療育研究会を実施し、職員のスキルアップに努めて参ります。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 11 | | | | | 今後もより良い支援プログラムを計画して参ります。 |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 11 | | | | | 今後も、お子様のニーズにのった支援計画を作成して参ります。 |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 11 | | | | | お子様一人一人のニーズを考慮し個々の強みを引き出せるよう支援を行って参ります。 |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 11 | | | | | 児童発達支援計画に沿って職員全員で支援に取り組んでおります。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 11 | | | | | 毎回事業所職員で話し合いを行い、固定化されないように工夫させて頂いております。引き続き、楽しく支援を受けて頂けるよう計画して参ります。 |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 9 | 1 | 1 | | 幼稚園や保育園と併用して通っている子が多い事業所なので、わざわざ機会を作らないといけないのか疑問に思う。 | ご意見ありがとうございます。今後、どのように取り組んでいくか協議して参ります。 |
| 保護者 への 説明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 11 | | | | | 事業所契約時にお伝えさせて頂いております。ご不明な点等ございましたら、職員までお申し付けください。 |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 11 | | | | | 面談を行った上で、説明を行なわせて頂いております。 |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 11 | | | | | 年に2回家族会を実施しております。ペアレントトレーニングの開催など、今後も検討して参ります。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 11 | | | | | 親子療育や、送迎時、面談、連絡帳等を通して、お子様の状況が共通理解できるよう、取り組ませて頂いております。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 11 | | | | | 専門性を活かし、助言できるよう、職員も日々研修等を通して研鑽しております。 |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 11 | | | | | お子様、保護者様に寄り添った支援が行えるようにして参ります。 |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 9 | 1 | | 1 | きょうだい向けのイベントは無いが、家族で参加出来るものには一緒に参加させてもらっている。 | 今年度は特に、親子療育に力を入れて頂いております。ご参加いただけるご家族様も増え、交流の場となっております。今後は、きょうだい向けのイベントも実施できるよう、協議し検討して参ります。 |
| 19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 11 | | | | | ご相談があった際はその都度面談を行っております。また、必要に応じて関係機関との担当者会議も行っております。 | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|----|--|--|---|---|
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 11 | | | | 親子保育や、送迎時、面談、連絡帳等を通して、お子様の状況が共通理解できるよう、取り組ませて頂いております。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 11 | | | | 毎月月間予定表の配布、その他の連絡等、さくら連絡網にて随時お知らせを行っております。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 11 | | | | 個人情報の取り扱いに関しては、鍵付きの保管し、全職員十分に注意しております。個人情報の取り扱いについては今後も徹底して参ります。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 11 | | | | 毎月1回避難訓練、年1回の防犯訓練の実施と、感染症や、身体拘束については、毎月研修を行っております。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 10 | | | 1 | 毎月1回避難訓練、年1回の防犯訓練の実施と、感染症や、身体拘束については、毎月研修を行っております。訓練のお知らせは、月間予定表にてお知らせしております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 11 | | | | 安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後も安全確保に努めて参ります。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 11 | | | | 怪我等のないよう、最新の注意を払っておりますが、怪我等あった際は、速やかに保護者様に連絡はさせて頂いております。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 11 | | | | お子様方が、安心して楽しく通所していただく事を目的としております。職員との信頼関係を築けるよう努めて参ります。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 9 | | | 2 | お子様方一人ひとりの楽しいことを見つけて、楽しく通える事業所でありたいと日々努めて参ります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 11 | | | | 今後も皆様にご依頼頂ける事業所でありつづけるよう、お子様方のご家族様のニーズに寄り添いながら支援に努めて参ります。 |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 令和7年2月27日 | | | |
|--------------------|---|---------------|-----|--|---|
| 児童発達支援事業 ニーニョスクラブI | | | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | | 基準を満たしたスペースとなっておりますが、お子様の状況によって机等の配置に注意しながら十分なスペースを確保してまいります。 |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員配置数は適切であるか。 | ○ | | | 基準を満たした職員配置数となっております。お子様の状況や人数等も考慮し、他事業所からの応援依頼など職員数を調整しております。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | | 活動内容に応じて環境設定を行えるよう努めています。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | | 療育室、トイレ、倉庫等の管理責任者がいるため衛生管理を徹底しております。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 活動やお子様方の状況によって、臨機応変に様々な部屋を使うことが出来るよう、工夫して対応を行っております。 | お子様が落ち着かない場合には、お子様の状況に応じて落ち着く環境を作っています。 |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | | 毎月1回ケース会議時に業務改善事項があれば協議し、その他の改善事項があれば朝礼等で発信し改善に努めております。 |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | 毎年1回保護者様向けの評価、事業所評価を実施し、保護者様からいただいたご意見を事業所間で共有し業務改善に努めて参ります。 |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 10日に1回1ON1ミーティングを行い、職員一人一人との個別ミーティングを行っております。 | 毎月1回ケース会議を開催し、その際に意見を把握しています。また、毎日の朝礼でも必要な情報等については箇内で情報共有を行っております。 |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | | 今後は実施できるよう検討して参ります。 |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 毎月1回療育研究会と、年3回法人で外部講師を招いて職員研修が行われています。 | 毎月1回療育研究会を実施。その他内部研修・外部研修を受けながら職員のスキルアップに努めています。 |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | 毎月1回月間予定表として、保護者様に配布と、事業所に掲示を行っております。 | 支援プログラムを作成し、慶生会ホームページにて公表しています。 |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | ○ | | | 保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その情報を職員で共有後に計画案を作り、保護者様、職員との検討会議をし本計画とする流れで作成しております。 |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | | 児童発達支援責任者を中心に事業所の全職員でアセスメントを実施した後に、児童発達支援計画を作成しております。 |
| | 14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | | 計画案を作成後、職員や保護者様と検討会議を行い本計画を作っている為その中で共有している。また、計画の変更があった際も随時共有を行っております。 |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | | ガイドラインに基づいた書式で児童発達支援計画を作成している。日々の行動観察は連絡帳にて記録し、その中の項目にてアセスメントを行っております。 |
| | 16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | | 児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しています。 |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | | 活動内容の立案は職員間でお子様の状況に応じて協議しながら、チームで連携や共有が図れるようプログラム立案を行っております。 |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 毎月新しい活動も取り入れながら、楽しみながら支援を受けて頂けるよう工夫職員で話し合いを行っております。 | 新たな取り組みを実施するにあたり、毎月の活動が固定しないよう常に情報収集活動しながらプログラムを策定しています。 |

| | | | | | |
|----|--|---|--|--|--|
| 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | | お子様の状況にあった支援を提供している。特に個別対応が必要である場面もある為、状況に応じて児童発達支援計画にも反映するよう努めています。 |
| 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 朝礼時活動内容含め、支援内容、役割分担について職員間で共有しております。 | |
| 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 支援終了後クラスごと職員間で支援の振り返りをし、お子様の状況、保護者様からのご意見、ご相談内容を共有しております。 | |
| 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | | 毎日業務日誌を記載し、人数、活動内容、所感をもれなく記録し支援の改善に繋がっております。 |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | お子様の目標達成状況に応じて見直しを行っております。 | |
| 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | | 児童発達支援管理責任者を始め、直接支援している保育士・児童支援員が参加しております。 |
| 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | 南部保健センターの方に連絡会に出席していただき、併用先の幼稚園・保育園や就学先の学校とは定期的に情報交換を行っております。 |
| 26 | 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | 併用利用のお子様には、年2回情報交換会を行っており、就学児に関しては就学先との連絡会を行っています。療育参観やズーム会議、併用先へ訪問にて実施しております。 | |
| 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | | 就学児を対象に小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と相互理解を図ることができるよう努めております。 |
| 28 | (28～30は、センターのみ回答) | ○ | | | |
| | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。 | ○ | | | |
| 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | ○ | | | |
| 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | | |
| 31 | (31は、事業所のみ回答) | ○ | | 年に3回、児童発達支援センターが中心となって行われる南部地区連絡会に参加し、情報共有、勉強の場として参加させていただいております。 | |
| | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | ○ | | | |
| 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | | 交流の機会を設定できるよう、今後検討してまいります。 |
| 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 面談、申し送り、連絡帳、お電話等で保護者様とお子様の状況や課題について情報共有を行っております。 | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 年に2回、家族会時に研修の場を設けております。参加人数が少ないですが、多くの保護者様の参加をお待ちいたしております。 | 家族支援について、お子様の状況等に応じてペアレントトレーニング等の保護者支援を実施できるよう計画して参ります。 |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 契約時に説明を行い、利用者負担が必要な場合は随時説明を行い同意をいただいております。 | |
| 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | | 作成する前にお子様、保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。 |
| 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | ○ | | | 年2回、支援計画を基に検討会議を行い、保護者様より同意をいただいております。 |
| 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 連絡帳や、面談、送迎時、親子療育時に保護者様と会話をする中で、悩み等お聞きし、助言できるようにしております。 | 引き継ぎご家族からのご相談には迅速に、かつ適切に対応できるよう努めてまいります。 |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|--|---|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 今年度は、特に親子療育に力を入れ、多くのご家族様に参加して頂くことができています。その中で、保護者様同士の交流も多く見られるようになっております。 | 交流の場として、定期的に親子療育にて交流出来る機会も設定しております。今後も保護者様同士の交流が図れる機会（茶話会等）を設けております。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 随時受付、迅速に対応できるよう対応しております。 | 相談があった際は、職員間で共有し最適な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、解決に繋げられるよう対応して参ります。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 月間予定表にて活動予定と、前月の活動の様子を掲載しております。 | SNS・Instagramの活用を行いながら、様々なニーズに応じた発信が出来るよう検討して参ります。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 個人情報に付随する施設等にて保管しております。また、写真の掲載については保護者間の同意を伺ううえで掲載しております。 | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | お子様には視覚的支援など様々な手段を用い、保護者様には連絡帳等わかりやすく記載し、お伝えできるよう工夫しております。 |
| 非常時等の対応 | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。 | ○ | | 法人全体で毎年サマーフェスタ、フリーマーケットを開催し、地域住民の皆様にも来ていただく地域に関わられた事業運営を行っております。 | |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | | マニュアルは整備できておりますが、保護者様に周知していただく方法や訓練を検討して参ります。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | BCPを作成し、随時変更があれば更新しております。毎月1回、地震、火災、不審者対策等の避難訓練を実施しております。 | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | | 発作、服薬、予防接種等については契約時に詳しく確認を行い、変更があれば随時申し出ていただいております。 |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。 | ○ | | 新規面談時にアレルギーについて聞き取りを行い、必要なお子様には医師の指示書をいただき栄養士とも共有し個別対応を行っております。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 安全計画を作成し、随時ケース会議にて職員間で研修や訓練を行っております。 | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | BCP等はご家族へ向けて掲示していますが、取組内容の周知方法を今後検討してまいります。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、事業所内で方策を検討しております。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 毎月、虐待防止委員会、身体拘束委員会の会議を行っております。 | 毎月1回虐待防止委員会を開催し共有している。法人内の全体研修時にも虐待について取り上げております。 |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | ○ | | | 現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいません。必要なお子様に関してはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童発達支援計画に記載しております。 |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|----|---------------|
| ○事業所名 | ひびき | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年12月 1日 | | ～ 令和7年 1月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 15 | (回答者数) 9 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 2月 1日 | | ～ 令和7年 2月 18日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 2月 21日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | お子様の課題に合わせ、定期的に個別療育を行い、課題に合わせた一人一人に合った支援を行う。 | ・本人支援の5領域領域を踏まえ、基本的な生活、就学、社会生活を見据えた支援を行うために、個々の現状把握を職員間でしっかり共有する。 | ・課題に合わせた遊びと支援の研究 ・職員のスキルの向上 ・専門職員との連携 |
| 2 | ・親子での園外活動を定期的に充実させる。 ・感染対策を施してご家族での茶話会を実施する。 ・希望があればいつでも保護者様からの面談に応じる。 | ・親子療育中のご家族の現状をお聞きしながら、また、家庭でも出来る支援をお伝えする機会に活かす。 ・ご家族の相談には常時対応している。 | ・親子療育の内容の希望をお聞きしながら、課題に沿って支援に活かせる内容になるよう工夫する。 |
| 3 | ・お子様の支援について、OT、PT、STの専門職との連携を図る。 ・個々で専門分野の研修に参加し、個別支援への強化を図る。 | ・必要に応じて専門職員に入っただき課題を専門的視野で解決する方法を職員と共有する。 ・一人一人に合わせた専門的に特化した支援方法を定期的に共有する。 | ・職員のスキルの向上 ・専門職員との連携 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 保育所や認定こども園、幼稚園等の交流を行う。 | 全利用児が保育所や認定こども園、幼稚園との併用の為、主な生活の場となっており、改めて交流には至っていないが、職員も含め交流の場を今後検討していく。 | ・保育所や認定こども園、幼稚園にも交流のお話をしてどのようなことが行えるか職員間での話し合いを検討していく。 ・併用先との密な連携を図り、情報の共有を図っていく |
| 2 | ペアレントプログラム実施について | 定期的なペアレントプログラムの確実な実施に至っていない。 次年度は、どのような方法で実施が出来るか計画を策定していく。 | ・ペアレントプログラムの実施計画の公表と実施に向けたプログラム策定 |
| 3 | snsの活用について | 保護者への広報として現在ホームページのブログのみとなっている。 | 他のSNSを活用して、保護者への普段の様子や広報を広げられるよう利便性を高めるよう検討していく。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひびき

公表日 2025年 2月 27日

利用児童数 15名

回収数 9名

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|-------|--|--|
| | | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 9 | | | | | 今後も活動のスペースを確保するために、環境を整えていきたいと思います。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 9 | | | | | 法人全体で職員配置数は適切であるようになされています。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 8 | | | | 1 | お子様の危険のないよう配慮し、整然とした空間を保つようにしています。施設全体バリアフリーとなっております。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 9 | | | | | 毎日、清掃消毒を行い清潔な生活空間で活動するように努めています。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 9 | | | | | 職員全員でお子様の特性を理解し、必要に応じて、専門職の職員に入ってもらい必要な支援を構築しています。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 9 | | | | | 今後もよりよい支援プログラムを組んで参ります。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 9 | | | | | お子様の希望、ご家族様のニーズを踏まえて、発達を促す計画を作成するよう努めています。 |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 9 | | | | | 児童発達支援計画には、5領域や家族支援を踏まえた子どもの具体的な支援内容が設定されています。 |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 9 | | | | | 児童発達支援計画に沿って職員全員で支援に取り組んでいます。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 9 | | | | | 活動プログラムはお子様方が感動、またしたいと思える活動を新しい試みも含めて組むよう心掛けてます。 |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 7 | 1 | | | 1 | お子様方が保育所や認定こども園、幼稚園等と併用されているので、今後どのような交流が出来るか連携を取り検討して参ります。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 9 | | | | | ご契約時に説明を行わせて頂いてます。ご不明の点はいつでも職員にお声掛けください。 |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 9 | | | | | 面談をしたうえで、聞き取り話し合いの上ご説明させて頂いております。 |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 9 | | | | | 家族会(年2回)にて、研修の機会も設けてますので、皆様のご参加を今後も募ってまいります。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 9 | | | | | お子様の気になる様子等は、すぐに連絡等するよう心掛けてます。また、ご家族からの連絡もいつでもお聞きしています。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 8 | | | | 1 | 巡回時の連絡帳や面談時に限らず、いつでも相談は伺いますので遠慮なく職員までお声掛けください。 |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 9 | | | | | 今後もお子様とご家族ファーストの支援を行って参ります。 |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 6 | 1 | | | 2 | 年2回の家族会に加え、親子療育でのイベント、法人主催のイベント等を行い、交流の場を設定させて頂いております。ご家族で参加できるイベントを今後も検討して参ります。 |
| 19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 8 | | | | 1 | 相談申し入れに対しては、いつでも受け入れております。また、事業所内だけでなく、法人内全体でも受け入れますので、いつでもお声掛けください。 | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---|---|---|
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 9 | | | | お子様とご家族様と必ず意図が伝わる様お話しは常々させて頂いています。 |
| | 21 | 定期的に通園やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 8 | | | 1 | 評価は毎年発信させて頂いています。ご意見等ありましたら、いつでもお聞かせください。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 9 | | | | 個人情報に関しては配慮しております。気になる事がある際はいつでもお知らせください。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 9 | | | | 様々なマニュアルは各場所に掲示されていますので、ご来館の際にご確認頂きますようよろしくお願い致します。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 8 | | | 1 | 月1回、様々な避難訓練を行っております。非常時はお子様の安全を第一に職員も行動できるよう参加しております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | 1 | お子様の安全が確保されるよう計画されていますので、ご不明な点は職員までお尋ねください。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 8 | | | 1 | 事故等が発生した際は、迅速に連絡し、状況を説明しております。今後も事故等のないよう努めて参ります。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 9 | | | | 通園開始時より、毎回安心して通えるよう声掛け心配りに努めております。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 8 | | 1 | | お子様方一人ひとりの楽しいことを見つけ、楽しく通える事業所でありたいと日々努めて参ります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 9 | | | | 今後も皆様にご依頼頂ける事業所でありつづけるよう誠実に対応して参ります。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | ひびき | | 公表日 2025年 2月 27日 | | | |
|----------|--------|--|-----------------------|---------|--|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | <input type="radio"/> | | | 基準を満たしたスペースとなっておりますが、お子様の状況によって机等の配置に注意しながら十分なスペースを確保してまいります。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | <input type="radio"/> | | | 基準を満たした職員配置数となっております。お子様の状況や人数等も考慮し職員数を調整しております。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | <input type="radio"/> | | | 活動内容に応じて環境設定を行えるよう努めています。また、部屋の雰囲気等も考慮した明るい雰囲気も保てるよう工夫しております。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | <input type="radio"/> | | お子様方の安全に配慮し、整然と整頓した環境を常に保つよう努めています。 | 療育室、トイレ、倉庫等の管理責任者がいるため衛生管理を徹底している。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | <input type="radio"/> | | | お子様が落ち着かない場合には、静養室などに移動するなど、お子様の状況に応じて落ち着く環境を作っています。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | <input type="radio"/> | | | 毎月1回ケース会議時に業務改善事項があれば協議し、その他の改善事項があれば朝礼等で発信し改善に努めております。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | | 毎年1回保護者様向けの評価、事業所評価を実施し、保護者様からいただいたご意見を事業所間で共有し業務改善に努めて参ります。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | | 月1回ケース会議を開催し、その際に意見を把握しています。また、毎日の朝礼でも必要な情報等については情報共有を行っております。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | | 今年度は行っておりませんが、今後は検討して参ります。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | <input type="radio"/> | | 年2回の法人の研修、毎月の児童支援課内の研修と職員会議等で随時研修を行っております。また、必要に応じて外部の研修も参加しております。 | 毎月1回療育研究会を実施。その他内部研修・外部研修を受けながら職員のスキルアップに努めています。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | <input type="radio"/> | | | 支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | <input type="radio"/> | | | 保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その情報を職員で共有後計画案を作り、保護者様、職員との検討会議を経て本計画とする流れで作成しております。 |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | <input type="radio"/> | | | 児童発達支援責任者を中心に事業所の全職員でアセスメントを実施した後に、児童発達支援計画を作成しています。 |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | <input type="radio"/> | | | 計画案を作成後、職員や保護者様と検討会議を行い本計画を作っている為その中で共有している。また、計画の変更があった際も随時共有を行っています。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | <input type="radio"/> | | | ガイドラインに基づいた書式で児童発達支援計画を作成している。日々の行動観察は速記録にて記録し、その中の項目にてアセスメントを行っています。 |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | <input type="radio"/> | | | 児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しています。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | <input type="radio"/> | | | 活動内容の立案は職員間でお子様の状況に応じて協議しながら、プログラム立案を行っております。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | <input type="radio"/> | | 毎月、季節の行事に合わせて、季節感が感じられるまた、楽しかったと思ってもらえる活動を行うよう新しいものも取り入れております。 | 毎年新たな取り組みをしたり、毎月の活動がマンネリ化しないよう常に情報取捨選択しながらプログラムを策定しています。 |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|--|---|--|
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | | お子様の状況にあった支援を提供している。時に個別対応が必要である場面もある為、状況に応じて児童発達支援計画にも反映するよう努めています。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | | 朝礼時活動内容含め、支援内容、役割分担について職員間で共有しております。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | | 支援終了後クラスごと職員間で支援の振り返りし、お子様の状況、保護者様からのご意見、ご相談内容等を共有しております。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | | 毎日業務日誌を記載し、人数、活動内容、所感をもれなく記録し支援の改善に繋げております。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | | お子様の目標達成状況に応じて見直しを行っております。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | | 児童発達支援管理責任者を始め、直接支援している保育士・児童支援員が参加しております。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | 南部保健センターの方に連絡会に出席していただいたり、併用先の幼稚園・保育園や就学先の学校とは定期的に情報交換を行っております。 |
| | 26 | 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | | 併用利用のお子様には、年2回情報交換会を行っており、就学児に関しては就学先との連絡会を行っています。療育参観やズーム会議、併用先へ訪問にて実施しております。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | | 就学児を対象に小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と相互理解を図ることができるよう努めております。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | ○ | | 同じ法人内に児童発達支援センターがあり、日頃より連携を図り、必要に応じて助言を頂いています。 | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | | 交流の機会を設定できるよう、今後検討してまいります。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 日頃のミーティングや職員会議にて共通理解を図っております。 | 面談、申し送り、連絡帳、お電話等で保護者様とお子様の状況や課題について情報共有を行っております。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | | 家族支援について、お子様の状況等に応じてペアレントトレーニング等の保護者支援を実施できるよう計画して参ります。 | |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | | 契約時に説明を行い、利用者負担が必要な場合は随時説明を行い同意をいただいております。 |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | | 作成する前にお子様、保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | ○ | | | 年2回、支援計画を基に検討会議を行い、保護者様より同意をいただいております。 |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | | 引き続きご家族からのご相談には迅速に、かつ適切に応じられるよう努めてまいります。 |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|--|--------------------------|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | | 交流の場として、定期的に親子療育にて交流出来る機会も設定しております。今後も保護者様同士の交流が図れる機会（茶話会等）を設けております。 |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | | 相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、解決に繋げられるよう対応して参ります。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | | 毎月1回行事予定表にて活動内容等をお知らせしております。また随時ブログを更新し活動風景を発信しております。今後は様々なツールを活用して発信して参ります。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | 個人情報には厳格な取扱いを徹底しております。また、写真の掲載については保護者間の同意を得たうえで掲載しております。 |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | お子様には視覚的支援など様々な手段を用い、保護者様には連絡帳等わかりやすく記載し、お伝えできるよう工夫しております。 |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | | 法人全体で毎年サマーフェスタ、フリーマーケットを開催し、地域住民の皆様にも来ていただいております。 |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | | マニュアルは整備できておりますが、保護者様に周知していただく方法を検討してまいります。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | | BCPを作成し、随時変更があれば更新しております。毎月1回、地震、火災、不審者対策等の避難訓練を実施しております。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | ○ | | | 発作、服薬、予防接種等については契約時に詳しく確認を行い、変更があれば随時申し出ていただいております。 |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | | 新規面談時にアレルギーについて聞き取りを行い、必要なお子様には医師の指示書をいただき保護者様とも共有し個別対応を行っております。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | 安全計画を作成し、随時ケース会議にて職員間で研修や訓練を行っております。 |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | BCP等はご家族へ向けて掲示していますが、取組内容の周知方法を今後検討してまいります。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、事業所内で方策を検討しております。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 毎月会議を行い、職員全員で虐待防止に努めてます。 | 毎月1回虐待防止委員会を開催し共有している。法人内の全体研修時に虐待について取り上げております。 |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | ○ | | | 現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいません。必要なお子様に関してはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童支援計画書に記載しております。 |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|---------------|--------------|-----|----------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス 遊 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年1月7日 | | ～ 令和7年1月22日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 36名 | (回答者数) 11名 |
| ○従業員評価実施期間 | 令和7年2月17日 | | ～ 令和7年2月19日 |
| ○従業員評価有効回答数 | (対象者数) | 4名 | (回答者数) 4名 |
| ○事業向け自己評価表作成日 | 令和7年2月21日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 特性に応じた環境作りをテーマに集団での活動だけでなく、状況・情緒に応じたアプローチを個別支援として行い、適切な対応を目指すことが出来る。 | お子様方が安心して過ごせるよう、特性に応じた環境作りを集団・個別支援の両方から工夫している。状況や情緒に応じて、自分の気持ちを伝える事で達成感や満足感を自身で感じながら、適切な対応を目指すことが出来るよう支援している。 | お子様方と一緒に様々な事を経験していく中で、社会生活を見据えた仲間づくりや対人関係スキルの向上を図る。 |
| 2 | 法人内の生活介護や就労事業所と連携することができ、体験を中心とした活動を通して、今後の将来への見通しを本人・ご家族と立てることが出来る。 | 生活介護事業所との交流イベント、就労支援事業所と連携した販売体験活動等を通して、実際に体験する活動を取り入れながら、今後の将来への見通しを本人やご家族が持ちやすいよう支援している。 | 法人内の生活介護・就労支援事業所との連携を図っていく中で、それぞれの事業所の強みを把握しながら、就労・就職への見通しが持ちやすくなるよう、説明会などの場を設けている。 |
| 3 | 事業所が立地に恵まれており、山を利用した自然散策や運動、園芸活動等、自然に親しみながらコミュニケーション・役割・働く事への興味を広げる支援を行うことが出来る。 | 自然あふれる地域の中で、園芸活動(芋の苗植え・収穫体験)や草木の剪定を行う中で、友達と一緒にコミュニケーション・役割・働く事への興味を広げられるよう支援している。 | 今後も自然あふれる地域・特色を活かしながら、お子様方の挑戦したいことを引き出ししながら、興味・意欲・自信を持って取り組める活動を企画していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 個別支援支援にの充実性を図る為の専門職との連携 | PT、OT、ST、歯科衛生士、看護師、栄養士等、支援の内容によって様々な専門職との連携を強化していきたい。状況に応じて、ご要望やご相談があった際に専門職と連携することができているが、更に活用しながら密な連携を図る。 | 現在、状況に応じて連携を図ることが出来ているが、専門職と連携した活動の場などを設定して、お子様方に必要な支援について事業所や保護者様との共有や連携を強化する。 |
| 2 | マニュアルやBCP、安全計画等についてご家族への周知が足りていない部分がある。 | お子様方の安全や非常時の事業継続の為に、必要なマニュアル・BCP等を策定し継続的に訓練も行っているが、ご家族に十分に周知できていない。一部掲示はあるが、周知が不足している。 | マニュアル等の冊子をご覧いただけるように、設置場所や周知の方法を見直し、直ぐにご家族が確認できるよう改善を図る。 |
| 3 | ご家族・きょうだい児同士の交流の場が企画を検討していく。 | 家族会や親子療育などで、ご家族同士の交流の場は少しずつできてきているが、交流をメインとした親子で参加できる企画を検討していく。 | ・ご家族の皆様に参加しやすい形をお聞きしながら、交流の場を設けていく。 ・ご家族で参加し、様々な体験を通して交流の場の提供を行う。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 遊

公表日 令和7年2月27日

利用児童数 令和6年12月31日 時点 35名

回収数 11名

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--|---|----|---------------|-----|-------|--|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 10 | 0 | 1 | 0 | | お子様の状況や遊びの内容に応じて部屋を分け、広場等も活用して伸び伸びと過ごせる環境作りを努めております。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 8 | 2 | 1 | 0 | | 職員配置の基準は満たしております。状況に応じて、職員の協力体制を整えながら、今後もお子様が安全に過ごせるよう努めて参ります。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 9 | 2 | 0 | 0 | | 静養の部屋、運動の部屋、机上での遊びなど、静と動をお子様の興味に応じて対応しながら、落ち着いて過ごせるよう努めております。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 10 | 0 | 0 | 1 | | 定期的な換気や消毒で感染対策も継続し清潔を保てるよう努めております。また、集中できる空間やみんなで楽しむ場などテーブルの配置を設定しております。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 9 | 0 | 0 | 2 | | 集団と個別対応の時間を特性等に応じて併用し、お子様が見通しを立てながら落ち着いて過ごし、活き活きと過ごせるように努めて参ります。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 10 | 0 | 0 | 1 | | 支援プログラムをベースに個々に応じた対応を保護者様と検討し、状況やニーズに沿った支援となるように努めております。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 9 | 1 | 0 | 1 | | 療育での様子に加えて、保護者様の主訴と療育・家庭・学校での様子や課題を踏まえた支援計画となるよう、努めております。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 9 | 1 | 0 | 1 | | 5領域（健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）をベースに個々の特性に沿った支援となるように計画作成を行っております。 |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 10 | 0 | 0 | 1 | | 内容や留意点を職員間で共有する中で、同じ視点で支援を行えるように連携し、送迎や学校連絡会などの機会に学校との情報共有内容も支援に活かせるように努めております。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 9 | 2 | 0 | 0 | | 様々な視点の課題を提供できるよう検討し、月間予定表に記載しております。同じテーマでも成長段階に応じて内容を変えるなど工夫しております。 |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 6 | 0 | 4 | 1 | | 児童クラブ等との企画は進んでおり、イベントや園外活動の際に、地域のお友達と触れ合う機会が増えております。今後も、児童クラブとの交流など新たな取り組みも検討して参ります。 |
| 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 8 | 0 | 1 | 2 | | 変更点や新たな取り組みの際には、メールや書面にてお知らせを行っております。ご質問やご不明な点がございましたら、事業所職員までお申し付けください。 | |
| 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | | 誕生月・半月ごとにモニタリングを行っております。支援計画の見直しなど、ご相談がありましたらお知らせください。 | |

| | | | | | | | |
|----------|----------------------|--|----|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | ご家族を対象とした相談会(保護師等)やABA(応用行動分析)での専門的な助言をご家族と共有する外部の専門職との連携を図っております。また、家族会では年に1回講師を招いた講演会を実施し、情報提供を行っていただいております。今後も計画的に実施して参ります。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。 | 10 | 0 | 1 | 0 | 学校送迎時の情報や療育時の様子の変化や出来事など、具体的にお伝えさせていただいております。今後も、保護者様との共通理解が図れるよう努めて参ります。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 6 | 2 | 0 | 3 | 面談を定期的に行い、内容によってはその日のうちにお電話等で保護者様と情報共有・助言をさせていただいております。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 8 | 1 | 1 | 1 | 保護者様やお子様のニーズを常に確認しながら、職員間で同様に共感的支援が行えるよう今後も努めて参ります。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 7 | 2 | 0 | 2 | 家族会を年に2回行い、講演会や茶話会など交流の場も設けさせて頂いております。また、運動会などのイベントも企画し、ご家族で参加できる場を今後も検討して参ります。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 10 | 0 | 0 | 1 | 法人として、日中一時支援や短期入所との併用を行っております。相談内容を精査し、様々な状況に応じて対応できるよう職員間で連携して参ります。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 9 | 0 | 1 | 1 | 申し送り、お電話、メールでの情報共有を行う事で、意思の疎通や情報伝達のための配慮が出来るよう努めて参ります。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 8 | 0 | 0 | 3 | 紙面と同時にメールにて行事予定など回覧できるようにしております。また、保護者様からの要望等に対しては、法人全体で検討させていただき、丁寧な回答が行えるよう努めて参ります。 |
| 非常時等の対応 | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | 個人情報の取扱いに関しましては、契約書の『利用者の記録や情報の管理、開示について』の項目に則り、注意してお取り扱いしております。 |
| | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 10 | 0 | 0 | 1 | 法人として、安全防災委員会・リスクマネジメント委員会を中心に訓練や啓発、定期的なマニュアルの見直しを行っております。また、定期的に災害等を想定した訓練を行っております。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 9 | 0 | 0 | 2 | 毎月避難訓練を実施しており、火災・地震・風水害など月ごとにテーマを決めて、災害時の動きについてお子様も含め訓練を行っております。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 9 | 0 | 0 | 2 | お子様に対する危険予知訓練を行い、危険理解を高めると共にお子様の安全を確保するための環境設定に努めて参ります。 |
| | 26 | 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 8 | 1 | 0 | 2 | 事故発生時には、状況に応じて看護師に親でいただくと同時に、保護者様へ連絡を行い事故の経緯や状況に応じた病状の手配など迅速な対応に努めて参ります。 |
| 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 9 | 2 | 0 | 0 | お子様の状況に応じた対応が出来るようにゆつくりと話す機会を持ち、気持ちを受け止めながら安心感をえられるように働き掛けて参ります。 | |

| | | | | | | | |
|-----|----|--------------------|---|---|---|---|---|
| 満足度 | 28 | ごどもは通所を楽しみにしていますか。 | 7 | 4 | 0 | 0 | お子様やご家族が興味を持てるような活動を企画しながら、お子様方の気持ちの発散や友達とのコミュニケーションの場となるように今後も努めて参ります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 9 | 1 | 0 | 1 | お子様、ご家族のニーズに寄り添い、個々に応じた支援に努めて参ります。今後もお子様方にとってより良い支援を提供できるよう研鑽して参ります。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 遊 | 公表日 令和7年2月27日 | | | | |
|---------|--------|--|-----|---------|---|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | 状況に応じて環境設定を行いながら、部屋を使い分けています。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | | 基準を満たした職員配置になっています。個々のスキルアップや他事業所との連携を図りながら、より良い支援を目指して参ります。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | | 静養の部屋、運動の部屋、机上での遊びなど、静と動をお子様の興味に応じて対応しながら、落ち着いて過ごせるよう努めております。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 毎朝、療育終了後には必ず清掃・消毒を実施しております。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | お子様の状況や情緒面など、その時の状況に合わせて環境設定を行っております。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | 月1回の職員会議にて業務改善に向けての取り組みについて、職員間で共有しながら話し合いを行っております。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 年1回の保護者様の評価にいただいたご意見を事業所内で共有し業務改善に活かしています。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 業務改善に向けて、1ON1ミーティングを実施しながら個別面談などを行っております。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | | 現在、外部評価はおこなっておりません。今後、外部評価の導入を検討しています。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 月1回、療育研究会を行ったり外部研修も定期的に受講しながら職員のスキルアップに努めております。 | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | 作成した支援プログラムをホームページにて公表しています。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | 事業所職員全員でモニタリング、アセスメントを行い計放課後等デイサービス計画作成をしております。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 計画書の作成後、児童発達支援管理責任者を中心に全職員で内容の確認や検討を行っております。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 計画に沿った支援ができるよう、面談終了後に朝礼やケース会議で内容を共有しています。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 法人内で統一されたアセスメントツールを活用しており、お子様の状況や共有事項に関しては、職員で発信しております。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 放課後等デイサービスガイドラインに沿って計画作成をしています。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 事業所職員全員で活動プログラムについて共有や改善を考えながら、立案を行っております。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 活動プログラムに僵りがないが、事業所職員全員で内容を確認しております。 | |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|---|--|--|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | お子様方の実態や特性に応じた支援計画書を作成しています。一人一人のニーズに応じた計画が作成できるよう努めております。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 毎朝の朝礼時に打ち合わせを行い、職員間でイメージしながら連携が図れるよう努めております。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 支援終了後、状況に応じて共有内容を発信し、周知を図っております。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 業務日誌を毎日作成しております。また、ご家族には連絡帳その日のお子様の様子を細かく記載するようにしています。 | |
| | 23 | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 職員間で適度な情報共有ができています。また、必要に応じて支援計画書の修正もおこなっております。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | ○ | | | 地域交流や連携の機会を設けることが出来るよう、イベント等を企画して参ります。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | お子様それぞれの自主性や主体性に繋がられるよう、お子様が選択する機会を設けながら、支援を行っております。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 定期的に参加する事ができています。また、必要に応じて担当者会議開催の依頼もおこなっております。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | お子様の実態や状況に応じて、連絡を取り合いながら情報共有を図り、支援体制を整えております。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 年2回の学校情報交換会や送迎の際など、連携を図りながら情報共有を行うことができております。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | 法人内の事業所を利用していただお子様の情報共有ができています。 | 保育所や幼稚園、認定こども園などの連携が図れるよう情報共有の場を設けながら支援へと繋げて参ります。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | 移行先や保護者様から依頼があった場合には、双方の連携がスムーズに行えるよう情報提供を行っております。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | 法人内の児童発達支援センターと連携を図りながら、地域の連絡会等に積極的に参加しております。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | 児童クラブ等との企画は進んでおり、イベントや園外活動の際に、地域のお友達と触れ合う機会が増えております。今後も、児童クラブとの交流など新たな取り組みも検討して参ります。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | 法人の代表が参加しております。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 申し送りや個別面談を通して子育てや支援に対する情報共有ができています。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | | 現在、未就学の保護者様向けにペアレントトレーニングを実施しております。それぞれのニーズに応じて検討して参ります。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 新規利用契約の際にご説明しています。内容についてご不明な点がございましたら、職員にお尋ねください。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | アセスメントや個別支援会議、モニタリング等を通して聞き取りをおこなっております。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | 支援計画書の内容に対して保護者様に説明を行い、共有した後に同意を得たうえで署名をいただいております。 | |
| 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 申し送りでの情報交換だけでなく、状況に応じて電話連絡や個人面談の対応を行っております。 | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|--|--|--|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 定期的に家族会や親子行事をおこなっています。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 苦情解決に向けてのマニュアルがあり、重要事項説明書にも記載しており、そちらに沿って対応しております。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | HPやSNS、掲示写真を通して活動内容の発信をしています。行事予定のご案内に関しては月1回、書面発行やメールにてお知らせしています。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 重要事項説明書に個人情報の取り扱いに関する記載があり、保護者様に説明するとともに十分留意しております。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 視覚支援やホワイトボードを活用したりなど、お子様のそれぞれの状況に応じて対応を行っております。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | 法人での取り組みとして、「サマーフェスタ」「フリーマーケット」等を開催しています。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | それぞれのマニュアルを策定しております。避難訓練は、地震、火災、風水害を想定して毎月実施しています。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 災害発生時と感染症対策についてのBCPが策定されています。また、机上訓練を通じて定期的に職員へ周知徹底しております。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 契約時の聞き取りと、アセスメント表を通じて年に1回必ず保護者様に聞き取りをおこなっております。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | 法人内の栄養士と連携を図り、医師の診断書等が必要な際には連携を図りながら対応しております。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 定期的に研修や訓練がおこなわれ、状況に応じて改定等を行っております。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | 緊急時対応について、安全計画をもとにご案内や緊急連絡先の聞き取りを行い、災害時に備えております。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 事業所内だけでなく、各課や法人全体でも共有出来るよう、状況に応じて発信しております。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 事業所として、月1回虐待防止、身体拘束適正化委員会を実施し、法人内にて研修の機会も設定しております。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 身体拘束適正化に向けたマニュアルを作成しております。身体拘束が必要とされる場合は、必ず保護者様に内容の説明を伺っています。 | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------------|-----|------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス ニーニョスクラブ I (遊II) | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年12月16日 | | 令和6年12月28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 36名 | (回答者数) 36名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年2月10日 | | 令和7年2月14日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3名 | (回答者数) 3名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月21日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 食育活動への取り組み。 | 毎月クッキングを行い、季節の食べ物や行事食(2月:恵方巻)などや野菜の苗植えや収穫体験を実施。 また、公共施設での収穫体験やピザ窯を使ってナン作り体験など施設外での食育活動を実施。 | 長期休みなどの給食提供時の食育指導なども強化する事が出来るような取り組みを強化していく。 |
| 2 | 園外活動での公共施設や公共施設機関利用での社会体験活動。 | 公共の場でのルールを守ることや周りの人のことを考えて行動するという目標を毎月園外活動を取り入れている。長期休みでは、JR体験や買い物体験などを通して、社会体験活動が出来るような企画を立てている。 | 就労を意識した、販売体験などの社会体験活動を企画し、様々な経験や主体的に取り組む事が出来る企画を検討していく。 |
| 3 | 多職種との連携。 | 毎月1度言語聴覚士による、言葉の教室での発語や発音などの活動や相談支援や栄養士などの専門職との連携を図る事ができる。 | お子様の運動機能面で、理学療法士や作業療法士などの専門職との連携を図り、個別支援の強化を図っていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 定期的な活動様子の配信。 | 毎月ホームページに月に1度活動様子を配信を行っていますが、配信する部署が事業所ではないので、次月以降の配信になっている。また、SNSを活用できていないことが課題である。 | ・SNSの活用と配信頻度は週に2~3回程度にする。 ・タイムリーな情報の発信・活動内容の提供が出来るようにする。 |
| 2 | 法人外の放課後等デイサービスとの交流。 | ・公共施設主催などの放課後等デイサービス交流会などの情報収集が不十分である。 ・他事業所との交流を図ることで、経験や企画イベントの幅を広げられる。 | ・ふれあい館などの公共施設のホームページや電話などでのイベント確認を行う。 ・他事業所・地域との交流機会がある事で社会体験の経験を広げることが出来るようにする。 |
| 3 | 家族支援。 | ・ペアレントプログラムなどの家族支援への発信・企画が定期的な実施へと繋がっていない。 ・実施企画が年間でのスケジュールに至っていない。 | ・法人内の児童発達支援センターは実施しているので、今後も放課後等デイサービスの保護者様にも呼びかけを行う。 ・ご家族にむけた研修の回数を年に数回に増やす。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ニーニョスクラブ I (遊Ⅱ)

公表日 令和7年2月27日

利用児童数 令和6年12月31日 時点 36名

回収数 36名 (100%)

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|----|---------------|-----|-------|-----------------|--|
| | | はい | どちらとも いいない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 33 | 3 | | | | ⇒活動や通園人数に応じて、療育室だけでなく、隣のプレイルームも活用しております。 |
| | 2 職員の数等は適切であると思いますか。 | 32 | 1 | | 3 | | ⇒職員は基準を満たして配置しております。現場の状況に応じて、他事業所から協力体制を整えながら対応しております。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 34 | 1 | | 1 | | ⇒廊下には手すりや階段のエレベーターなど設置しております。また、お子様が生活しやすいよう、視覚的支援の教材も活用しております。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 34 | 2 | | | | ⇒日々お子様の降園後、館内の清掃・消毒は行っており、清潔が保てるよう心がけております。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 33 | 1 | | 2 | | ⇒お子様のニーズに応じた支援を事業所職員で共有し努めております。また、強度行動障害など研修にも参加し、支援の質の向上に努めております。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 35 | 1 | | | | ⇒事業所支援プログラムやお子様のニーズに応じた支援内容を心掛けております。 |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 36 | | | | | ⇒放課後等デイサービス計画につきましては、半期ごとに保護者様にアセスメントを行い、お子様・保護者様の主訴、お子様の様子を見て作成し、面談にて保護者様と支援内容について共有させて頂いております。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 34 | 2 | | | | ⇒移行支援では、保護者様に同意を頂き、学校との連絡会を通してお子様の情報共有に努めております。また家族支援では、必要に応じて面談などの実施を行っております。 |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 35 | | | 1 | | ⇒放課後等デイサービス計画に沿ってケース会議や朝礼等で共有し、お子様の支援に反映できるよう努めております。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 36 | | | | | ⇒運動・製作・集団遊びなど活動に取り入れ、同じ活動でもお子様のニーズに合わせて内容を変えて取り組んでいます。また季節の行事や活動などを取り入れております。 |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 16 | 3 | 6 | 11 | | ⇒夏休みにふれあい館主催のイベントに参加予定でしたが、台風の高参加でできておりません。今後も他事業所との交流を検討して参ります。 |
| 保 護 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 33 | | | 3 | | ⇒契約時に、契約書などの書類を確認頂きながら説明しております。何かご不明な点がありましたら、お知らせ下さい。 |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 36 | | | | | ⇒放課後等デイサービス計画を保護者様に確認頂きながら、お子様の支援内容についてお話しさせて頂いております。 |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 33 | 1 | | 2 | 研修など回数が多い方が嬉しい。 | ⇒家族会など講師を招き講演会を実施しております。また今年度からペアレントプログラムも再開しております。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 36 | | | | | ⇒申し送りの際に、お子様の様子についてお話しさせて頂いております。今後も申し送り時や面談を通して、お子様についての共通理解を図ってまいります。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 36 | | | | | ⇒年に2回の面談の実施、必要に応じて個別での面談や担当者会議を設定しております。ご不明な点などございましたら、いつでもお声掛けください。 |

| | | | | | | | | |
|---------------------------------|----|--|----|---|---|---|--|--|
| 一 者 へ の 説 明 等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 34 | | | 2 | ⇒お子様の成長と一緒に喜び、保護者様のお悩みなど親身になってお話しさせて頂いております。 | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 28 | 1 | 1 | 5 | ⇒年に数回ご家族参加のイベントや今年度ご家族様の懇話会も実施しております。今後は、ご家族の皆様のご意見もいただきながら実施できる形を検討していけたらと思います。 | |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 34 | 1 | | | 1 | ⇒意見箱の設置や何か困りごとがあった際にはいつでもお声掛け下さい。また、相談があった際にはすぐに日程の調整を行い面談を実施しております。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 36 | | | | | ⇒申し送りの際は、他の保護者様と距離をあけて話を行うなど、プライバシーに配慮しています。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 33 | 1 | | | 2 | ⇒毎月保護者様に行事予定表を配布し、活動概要などお伝えしています。また、自己評価に関しては毎年3月頃紙面やホームページにて公開予定となっております。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 32 | 2 | | | 2 | ⇒個人情報の取り扱いには十分配慮しており、契約書の『利用者の記録や情報の管理、開示について』の項目に開示、注意してお取り扱いしております。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 36 | | | | | ⇒マニュアルを作成し、災害発生時のマニュアルに関しては、保護者様に紙面を配布しています。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 36 | | | | | ⇒毎月、火事・地震の避難訓練を行っています。また8月には風水害の避難訓練を行っています。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 35 | | | | 1 | ⇒危険予測を行いながら、環境設定や見守り・支援を行っております。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 34 | 1 | | | 1 | ⇒お子様の怪我や体調不良など、すぐに保護者様にご連絡をし、お子様の様子や怪我の状況についてお話しさせて頂いております。 |
| 満 足 度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 35 | 1 | | | | ⇒お子様が安心して通園して頂けると知り、嬉しく思います。今後もお子様方が安心して通うことができる事業所を目指して参ります。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 33 | 3 | | | | ⇒お子様方が通園を楽しみにしていることを知り、ありがたく思います。今後もお子様方が楽しく通園できるよう努めて参ります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 36 | | | | | ⇒事業所の支援に満足頂き、ありがとうございます。何か改善事項などあればいつでもお申し付けください。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | ニールニョスクラブ1 (遊Ⅱ) | | | | 公表日 | 令和7年2月27日 |
|---------|---|-----------------------|-----|--|--|-----|-----------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | <input type="radio"/> | | 人数が多い場合は、隣のプレイルームを使用しながら、お子様が過ごしやすい環境を設定しております。 | | | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | <input type="radio"/> | | 職員は基準を満たして配置しております。現場の状況に応じて、他事業所から協力体制を整えながら対応しております。 | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | <input type="radio"/> | | 廊下には手すりや階段のエレベーターなど設置しております。また、お子様が生活しやすいよう、視覚的支援の教材も活用しております。 | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。 | <input type="radio"/> | | 毎朝、そしてお子様の降園後、館内の清掃・消毒は行っており、清潔が保てるよう心がけております。 | | | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | <input type="radio"/> | | お子様の情緒や状況に応じて環境設定を行いながら、過ごしやすい環境作りに努めております。 | | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | <input type="radio"/> | | 毎朝の朝礼時など、業務改善を図るために気付きなどを共有する機会を設けて対応を行っております。 | | | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | 年1回の評価をもとに、状況に応じて職員間で改善等を協議しながら対応を行っております。 | | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | 職員の気付きの場を共有しながら、状況に応じて業務改善に繋げております。 | | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | | 第三者の外部評価の実施に向けて、検討・協議しながら今後対応を行って参ります。 | | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | <input type="radio"/> | | 療育研究会など法人内での研修だけでなく、法人外への研修も積極的に行いながら職員のスキルアップに繋げております。 | | | |
| 適切な支援の提 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | <input type="radio"/> | | 農生会のホームページにて公開しております。 | | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | <input type="radio"/> | | アセスメントの内容を事業所内で共有し、ニーズの反映された計画の作成に努めています。 | | | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | <input type="radio"/> | | 子どもの支援へ関わる中で、共通理解が図れるよう、支援を行っております。 | | | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | <input type="radio"/> | | 計画に沿った支援ができるよう、面談終了後の朝礼やケース会議で内容を共有しています。 | | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | <input type="radio"/> | | | アセスメントの書式の見直しに伴い、アセスメントツールを使用するかも検討しているところであります。 | | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | <input type="radio"/> | | ガイドラインの項目を踏まえ、実際のお子様の強みや課題に合わせた支援内容を設定しています。 | | | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | <input type="radio"/> | | 事業所職員全員で案を出し合い、活動プログラムを組み立てています。 | | | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | <input type="radio"/> | | 固定化されないように、職員間で話し合いを行いながら支援を行っております。 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|--|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | お子様のニーズや課題に合わせ、作成しております。個別活動と集団活動のバランスは個々に応じて変えています。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 朝礼の時間を利用し、その日の活動のねらいや内容、お子様への支援方法など打ち合わせを行っております。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 上記と同様に、朝礼の時間を利用し、前日の振り返りを行い、次の支援へと繋げていけるよう取り組んでいます。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 支援内容やお子様の様子など、記録として残し、成長や変化に気づきやすくなるようにしています。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 6か月ごとにモニタリングを行い、見直しを行っています。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | ○ | | 4つの基本活動だけでなく活動の時間だけでなく、余暇の時間も活用しています。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | 活動や過ごし方の中で、ルールを守るべいとこころと自己選択できる部分を設定しています。 | |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 担当者が出席し、有意義な情報共有が図れるようにしています。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 保健センターや児童相談所、各学校と関わりを作りながら支援体制を整えています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 年2回の情報交換会、送迎時などで連携を図っています。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | 必要に応じて、各関係機関と連携を図っています。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | 状況や必要に応じて、移行支援シート等を用いながら、情報共有を図っております。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | 南部地区連絡会に参加し、他事業所との意見交換や助言をいただく場になっています。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | ○ | 今年度、ふれあい館主催の市内の放課後等デイサービスのイベントに参加予定でしたが、台風の影響で中止しました。今後もそのようなイベントに参加する予定です。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | 法人の代表が出席しております。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 昨年度までは感染症の関係で実施しておりませんでしたが、今年度からペアレント・トレーニングを実施しております。ご希望の方がいらっしゃいましたら、お声掛けください。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 利用前の見学や契約の際にお伝えできるようにしています。ご不明な点がございましたら、職員までお問い合わせください。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | アセスメントや個別支援会議で本人やご家族の意向をお聞きして支援に繋げられるよう努めています。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | 年2回の面談の中で、放課後等デイサービス計画を元にお話させていただいています。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | ご相談いただいた際には、専門的な視点からの助言や支援を心掛けています。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|---|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 今年度は保護者様の親睦会も含め、家族会と合わせて、懇親会を実施しております。また、ご兄弟児も参加できる親子療育のイベントも毎年実施しております。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 苦情解決窓口を設置し、迅速に対応できるようにしています。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | | 療育の様子を見ていただきやすいようにSNSの利用も検討しています。個人情報の扱いに配慮しながら、発信の仕方を工夫していきます。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 契約書にもある『利用者の記録や情報の管理、開示について』の項に則り、厳正に取り扱っております。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | お子様の実態や状況に応じて、意思伝達に充分配慮できるよう対応しております。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | 事業所としては行っていませんが、法人として、サマーフェスタや、フリーマーケット等、地域に開かれた催しを行っております。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | 事前にご家族に対応を確認し、全職員対応できるようマニュアル化しております。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 月に1度、地震・火事・風水害の訓練を行っています。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 利用開始前に聞き取りを行っております。服薬など変更がある場合には、保護者様からご連絡を頂き、職員と情報共有を図っております。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | アレルギーなどある場合は、栄養士も同席し、保護者様との面談を行い、食事提供を行っております。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 安全計画を策定し、職員会議の時間を活用して情報共有や机上訓練を行っています。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | 安全計画に基づいて、お子様方への対応が図りながら、ご家族へ周知が図れるよう対応して参ります。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 事業所で発生したヒヤリハットはタイムリーに共有できるようにしています。また、他事業所のヒヤリハットにも定期的に目を通しております。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 毎月、虐待・身体拘束委員会の会議を設けながら、お子様方への対応について共有を図っております。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 身体拘束に関するマニュアルを作成しています。お子様の安全の為やむを得ず身体拘束が必要な場合は、本人・ご家族に十分な説明を行い、同意を得た上での実施を義務づけています。 | | |